

単元 PDCA シート

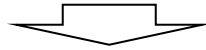
題材名 (物語を聞いて、表現しよう～三匹のこぶた～)

研究の視点 何ができるようになるか

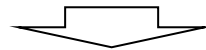
小学部における 育てたい力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
	各教科等の知識・技能 国語	自分の思いや考えを表現する力	いろいろな活動に意欲的に取り組む力
		他者の思いや考えを聞く力	活動によりよく取り組もうとする力
		自分の役割を意識し、他者と協力して活動する力	集団の中で自分のできることを発揮する力

関連する 個別の指導計画 の目標	G男 (3年)	K男 (4年)	L男 (5年)	N男 (6年)
	・簡単なお話を聞いて、内容に合った場面を選択することができる。	・動きの言葉を聞いて、それに応じたイラストカードを選ぶことができる。	・漢字で書かれた自分の名前を判断することができる。	・平仮名で視写できる文字を増やすことができる。

題材の目標 (各授業の中心的課題)	簡単な物語を聞いて、話の場面を表現したり選択したりすることができる。
----------------------	------------------------------------



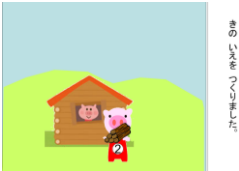
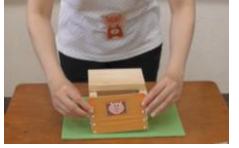

「育成を目指す資 質能力の三つの 柱」の観点で分析	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性 主体的に学習に取り組む態度
	・簡単な文章を読んだり聞いたりすることで物語に親しむ。 ・物語の中の言葉を聞いて、登場する物や人物、事象、行動とを結び付けることができる。	・読み聞かせを聞いて、適切な場面を思い浮かべることができる。 ・イラストを時間の経過にそって並べることができる。 ・簡単な指示や説明を聞き、それに応じた行動ができる。 ・場面に合ったイラストを選んだり操作をしたりすることができる。	・読み聞かせに興味をもって聞くことができる。 ・好きな場面を選び、表現しようとするすることができる。 ・登場人物の動きを進んでまねようとするすることができる。



題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞や動詞の言葉を聞いて、適切なイラストと結び付けることができる。(知識・技能) ・簡単な文章を聞いて、イラストを選択したり動きで表現したりすることができる。(思考力・判断力・表現力) ・好きな登場人物の動きを進んで表現しようとするすることができる。(主体的に学習に取り組む態度) 			
個別の評価規準 (個の目標)	G男 (3年)	K男 (4年)	L男 (5年)	N男 (6年)
	・簡単な文章を聞いて、イラストを貼ったり具体物を組み立てたりして場面を表現することができる。(思・判・表)	・指導者の言葉を聞いて、適切なイラストや実物を選ぶことができる。(知・技)	・話の内容に興味をもって、意欲的に活動に参加し、表現しようとするすることができる。(態度)	・簡単な文章を聞いて、イラストを貼ったり具体物を組み立てたりして場面を表現することができる。(思・判・表)

◎：一人でできる ○：手掛かりを参考にして △：指導者の促しで ×：できない

研究の視点 どのように学ぶか（主体的な学び・対話的な学び・深い学び）

学習活動	活動機会・支援環境・授業展開	
<p>2 読み聞かせを聞いて、表現をする (2) 具体物を使って表現する</p>	<p>・児童が見通しをもって活動できるように手掛かりとなる手本動画を提示する。</p> <p>読み聞かせの文章とテレビ画面のイラストのみでは動作化へと結びつきにくい児童がいたため、指導者が動作化して具体物を操作している様子を撮影し提示した。</p> <p>・児童の思考をする場面を設けるために、動画を一部分隠すことで、読み聞かせの言葉を聞いて動作化できるようにする。</p> <p>読み聞かせの文章を聞かずに、動画を見て活動してしまうため、活動に見通しができた児童に対しては、文章のみを手掛かりに、思考しながら動作化できるように、手掛かりとなる部分を隠しておくようにする。</p>	 <p><プレゼンテーションでのイラスト提示></p>  <p><動作化のための手本動画></p>  <p><手本動画の一部を隠す></p>

研究の視点 何を学ぶか

<p>学習指導要領での位置づけ</p>	<p>国語科 第2段階〔知・技〕 イ（ア）昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむ （イ）遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむ （エ）読み聞かせに親しみ、絵本などに興味をもつ 〔思・判・表〕Aイ 簡単な指示や説明を聞き、応じる Cア 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作の想起 イ 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過の捉え</p>			
<p>年間指導計画での位置づけ</p>	<p>ことば・かず Bグループ 【国語科】お話を読もう</p>			
<p>学習指導計画（全12時間）</p>	<p>第1次 お話を聞いて答えよう・・・2時間 第2次 お話を聞いて、やってみよう（イラスト操作）・・・4時間 第3次 お話を聞いて、やってみよう（具体物を使って）・・・6時間（本時5/6）</p>			
<p>討議会での意見</p>	<p>・小学部段階では物語を扱うことが多く、様々な話に触れる良い機会になる。 ・中・高になると、より具体的な表現や説明文を扱うようになる、小学部の段階で様々な語彙や事物に触れておくことは大切。 ・物語を聞いて表現する活動は、小学部ならではの活動。聞くだけでなく身体表現することはより理解も深まるのではないか。</p>			
<p>単元についての評価</p>	<p>指導内容</p>	<p>イラスト操作を先に行ったが、具体物を使った表現を先に行うほうがよかった。</p>	<p>指導形態</p>	<p>集団にこだわらずに個別を重視する部分があってもよかった。個を生かせる集団学習にする。</p>
	<p>実施時期</p>	<p>適切</p>	<p>時数</p>	<p>適切</p>
<p>単元についての改善点</p>	<p>・物語に出てくる具体物は馴染みのないものが多かった。話の内容や登場する物を児童の実態に合わせて変えて、どのくらい分かって活動できるのかを見る機会があってもよかったのでは。 ・児童の実態に応じた、物語の精選は必要。どの内容を扱ったかは記録に残していく。 ・児童の語彙を広げたり、表現方法を広げたりするためには、より身近な言葉から学び、日常生活に生かしていくことが大切。物語の中でそれがねらえるような、内容設定や環境作りをしていく。</p>			